

タイプIサイト特異的デオキシリボヌクレアーゼ

Cat. No. EXWM-3573

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 これは、現在EC 3.1.21.4（タイプII部位特異的デオキシリボヌクレアーゼ）およびEC 3.1.21.5（タイプIII部位特異的デオキシリボヌクレアーゼ）としてリストされている酵素と共に、以前はサブサブクラスEC 3.1.23およびEC 3.1.24に別々にリストされていた大規模な酵素群です。これらはATP（またはdATP）およびS-アデノシル-L-メチオニンを必要とします。特定の短いDNA配列を認識し、認識配列から遠く離れた部位で切断します。これらは多機能タンパク質であり、EC 2.1.1.72 [部位特異的DNAメチルトランスフェラーゼ（アデニン特異的）]およびEC 2.1.1.37の反応も触媒します。

別名 タイプI制限酵素; デオキシリボヌクレアーゼ（ATPおよびS-アデノシル-L-メチオニン依存性）; 制限修飾システム; デオキシリボヌクレアーゼ（アデノシン三リン酸加水分解）; アデノシン三リン酸依存性デオキシリボヌクレアーゼ; ATP依存性DNase; タイプI特異的デオキシリボヌクレアーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.1.21.3

CAS登録番号 37263-09-5

反応 DNAのエンドヌクレオリティック切断により、末端に5'-リン酸を持つランダムな二本鎖断片が生成される; ATPは同時に加水分解される

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。